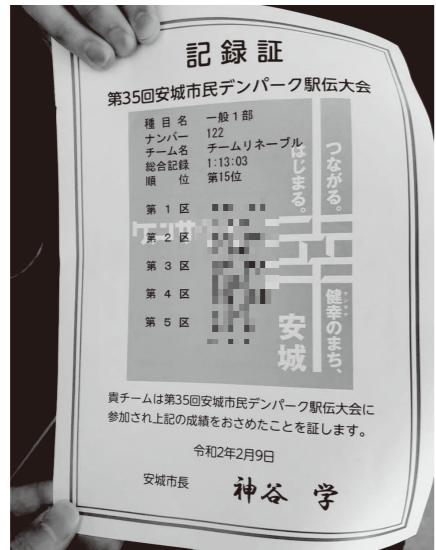




選手たちは必死に走り、他のメンバーも飲み物の配給などのサポートに回り応援した。

そんなみんなの团结あってか、選手たちはへとへとになりながらも最後まで走り切った。



結果として一般一部コースに出場し、全体の順位も31組中15位という前回よりもいい結果で終わることが出来た。

それでも順位に満足できず悔しがるメンバーもいたが、一つの目標に向かいみんなで助け合い、考えながら、他の団体の力も借りやり遂げることができた。

なにより選手たちの頑張っている姿を見て、応援メンバーのモチベーションも上がりリネーブル全体の活力にもつながった事だろう。

これはきっと社会に出てからとても大切な事で、今回の活動は今まで以上にリネーブルらしい活動になつたといい経験ではないだろうか。

(終わり)

### 選手の感想

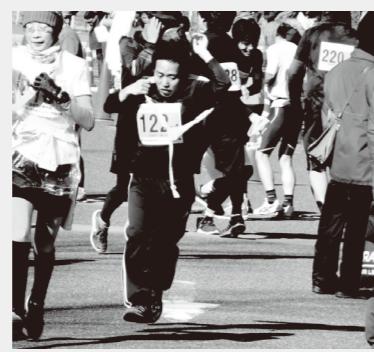
今回、2度目の駅伝大会出場ということで、以前よりかは緊張せずに競技に臨めましたかと思います。(N)

個人練習、チーム練習、下見などを念入りにしたことでの満足のできる結果が出て良かったです。(M)



練習中の風景

### 本番当日の様子



## 趣味のはなし (箏について)

箏という楽器、知っていますか？日本に古くからある楽器にもかかわらず、あまり知らないと答える人の方が意外と多いのではないでしょうか。

箏は昔からある楽器ではありますが生まれは日本ではありません。奈良時代に中国からやって来ました。中国からやってきたものに様々な人が長い時間をかけて改良していった結果が、現在広く知られている箏です。

箏の歴史を語るうえで欠かすことのできない人物の1人が、八橋検校です。彼は作曲家として多くの曲を残していますが、それ以上に大きな功績があります。平調子の発明です。

平調子とはミ・ファ・ラ・シ・ドの5音からなる音階のこと。箏曲の基本ともいえる音階で、多くの曲が平調子から何音上がる（下がる）で表せます。

八橋は三味線の名手であり、平調子は当時流行っていた三味線の音階をも

とに作ったといわれています。この発明がなければ今の箏曲はなかったでしょう。

また、京都の銘菓『八つ橋』の由来になったともいわれています。

残念ながら現代において箏はメジャーな楽器とは言えません。ですが、箏の音色は広く聞かれるようになります。

和楽器を用いたロックバンド『和楽器バンド』が人気を博しています。ボーカロイドのカバー曲にしろオリジナル曲にしろ、純邦楽や箏曲にあまりなじみがなくとも聞きやすいでしょう。

高校箏曲部をテーマにした漫画『この音とまれ』劇中曲を収録したCDは、純邦楽としては異例のヒット作となりました。八橋検校作曲の『六段の調』のような歴史ある曲、このCDのために書き下ろされた曲など幅広く収録さ

れています。実際の高校箏曲部でも書き下ろし曲は人気の様子。よく演奏されています。

お正月に箏の音色を聞いたことのない人はいないでしょう。

箏は意外と身边にあるのです。グローバル化が進む今だからこそ、あえてローカルな楽器に耳を傾けてみませんか？ そして興味がわいたら弾いてみてください。きっと箏の魅力のとりこになりますから。



## リネーブルボドゲ部

日本が大好きでついに念願の留学生を果たしたボブさん。カタカナ語の溢れる現代日本語に怒り心頭。純粋な日本語だけの辞典を作ることにしました。

ルールは簡単。誰か1人がカードに書かれたお題をカタカナ語を使わずに説明。ほかの皆さんそれを答えてもらうだけ。

このカタカナ語禁止ルールが曲者。この世の中には思った以上にカタカナ語が溢れています。これはボブさん怒ると思うほどに。「ビールにつ

いて説明したい。でもアルコールもホップもNGワード。なんて説明しようか。相手に伝わるように……。」なんて考えているとドツボにハマっていくのです。

けれども皆にわかつてもらえた時の爽快感はなかなかのもの。わかつてもらえなかったときはどうすれば良かったのかなと反省ですが……。それすら楽しいのがこのゲームの良いところ。

楽しむついでに説明スキルも上がってくとても素敵なゲームです。



### ボブジテン

人数	3~8人
時間	30分
年齢	10才から